

早稲田大学 大学院法学研究科  
2022 年度 修士課程入学試験問題（国内受験）  
【専 修 科 目】

民事法学専攻

国際関係法（私法）

以下の問題のうち1問を選んで答えなさい

答案の冒頭には選択した問題番号を明記すること。

- ① 法律関係の性質決定は国際私法自体の立場からなすべきであるといわれるが、それはどういうことか。例を挙げて説明しなさい。
- ② 債権契約の当事者が準拠法の指定をしなかった場合には、契約の準拠法の決定はどのようになされるべきか。契約の類型に分けて説明しなさい。
- ③ 国際的訴訟競合を許容するか、制限するか、制限するとすれば、その方法と基準はどのようにすべきか。国際的訴訟競合の結果生じた内外判決の抵触はどのように処理すべきか。この問題に関する学説や裁判例を紹介した上で、いずれが妥当であるか、あなたの考えを述べなさい。

以上

答案の書き方（横書）

六法全書の使用を（認める）